

地域創造学類カリキュラムマップ(公共政策プログラム専門科目)(令和4年度以降)

ディプロマ・ポリシー(学位授与方針)	地域創造学類では、現実の社会から提起される現代的諸課題に目を向け、それらを解決できる能力の育成を行う。そして、誰もが生き生きと安心して暮らせる社会、グローバルな共生社会、しなやかで折れない地域、将来にわたって持続発展する地域を実現するため、地域創造学の専門的知識と技術を修得し、地域の資源と特徴を生かし、質の高い個性ある地域づくりに意欲と責任をもって参加できる人材を、金沢大学<グローバル>スタンダード(KUGS)に立脚して育成する。また、海外の地域創造情報を自ら英語で収集し発信できる人材を育成する。金沢大学<グローバル>スタンダード(KUGS)及び本学類が掲げる人材養成目標を踏まえ、次の学修成果を達成した者に学士(地域創造学)の学位を授与する。	
公共政策プログラムの学習成果		
① 知識・理解	人間の生活基盤となる地域とその諸問題を理解するための地域創造学の専門的知識を修得している。	
	理念目標・社会的責任	対象となる地域課題の理念・目標や社会的責任について理解している。＝公共性、政策
	現状理解・把握	対象となる地域課題の現状理解や把握について理解している。＝協働、リスクコミュニケーション
② 技能・表現	実践論・対処方法	対象となる地域課題の実践論や対処方法について理解している。＝市民参加、熟議民主主義
	調査・分析方法	地域の諸課題の解決に必要な調査や分析の方法を修得している。
③ 思考・判断	伝達技能	他者の声に耳を傾け、自らの考えを的確に伝達するコミュニケーション能力と他者を繋げ合意形成に導くコーディネーション能力を身につけている。
	④ 関心・意欲	地域や社会の諸問題を生活から制度・政策まで多角的に分析し考察できる。
⑤ 態度	④ 関心・意欲	地域の諸問題を自ら探求し、よりよい地域の創造に貢献する意欲を持っている。
⑤ 態度	⑤ 態度	地域で暮らすすべての人に共感と尊敬を持って接することができる。

地域創造学類のカリキュラム・ポリシー(教育課程編成方針)	<p>地域創造学類は、学位授与方針に掲げる学修成果を達成するため、以下のとおり階層的な教育課程を編成し実施する。特に、地域課題科目群と地域創造科目群の選択的組み合わせによるプログラム制を導入し、学生の学修目標に沿った履修を実現する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 地域を知る基礎的な方法やリテラシーを学ぶ学類基礎科目群 2 地域とその諸問題を理解し、専門的知識を修得するための地域課題科目群 3 学生自身の将来像を意識させ、地域づくりのリーダーとしての素養を修得する地域創造科目群 4 地域を多面的に理解する調査や分析の方法を修得する演習及び実習科目群 5 多様な地域課題に対処する能力を高め、総合性を担保するための高年次の地域創造学特別演習 6 修得した知識と方法を統合的に発揮して自ら発見した地域課題に向かい合う卒業研究 <p>加えて、地域課題解決に実践的に取り組むための現地実習やインターンシップを配置し、フィールドワークによるプロジェクト学習や問題解決学習の手法を導入した実践的学修機会を用意する。また、学生の能動的学習を積極的に促すアクティブラーニングの手法を取り入れるとともに、外国語による地域創造に関する情報の収集と発信機会を提供する。</p>
------------------------------	---

【◎】は、授業の中で重点的に取り扱われ、特に高い学習成果が期待される。
【○】は、授業の中で取り扱われ、高い学習成果が期待される。

番号	授業科目名	学生の学習目標	授業理解のキーワード	単位数	学年	学習成果							
						理念目標・社会的責任	知識・理解 現状理解・把握	実践論・対処方法	調査・分析方法	技能・表現 伝達技能	思考・判断	関心・意欲	態度
35D01	政策学基礎論	公共政策を理解するために必要な政治学および政策学の基礎知識を得て、自らの理解を試験・レポートを通じて示すことができる。	政策過程、政策の目的と手段、政策決定、政策実施、政策評価	1	2年	○	◎	◎		○			
35D02	地方政府論	地域政府の役割、仕組み、政府間関係について基礎知識を得て、自らの理解を試験・レポートを通じて示すことができる。	地方政府、地方自治、二元代表制、政府の権能、政府間関係	1	2年	○	◎	○		○	○		
35D03	政策リサーチ	・公共政策にかかわる文献を講読し、そのアプローチの特徴や長所・問題点について論じることができる。 ・課題文献の理解にもとづき、各自の関心にしたがってレポートを執筆できる。	政策の分析と評価、記述的推論、事例研究、政策と規範	1	2年		○		◎	○	◎	◎	
35D04	リスクコミュニケーション	リスクコミュニケーションに関する考え方を理解し、学んだ知識やデータに基づいて科学技術のリスクについて説明できるようになる。	リスク、コミュニケーション、社会、信頼、認知、バイアス、対話	2	2年	◎				◎	◎	○	○
35D05	地域社会のリスクガバナンス	リスクやリスクガバナンスに関する知識や考え方をともに、地域課題への貢献について考えられるようになる	リスク、コミュニケーション、ガバナンス、社会、信頼、市民参加	1	2年	◎				○	◎	○	○
35D06	地域環境ガバナンス	地域環境問題をめぐる合意形成や利害調整の具体例や課題について理解し、ガバナンスのあり方と環境問題の関係について理解を深める。	環境ガバナンス、合意形成、利害調整、政府の失敗	1	2年	○	◎	○				○	
35D07	環境政策論	環境政策をめぐる政策過程の実態について理解し、それを分析するためのフレームワークを理解し活用できるようになる。	環境政策、政策過程分析、政治過程	1	2年		○		◎	◎			
35D08	社会政策論	雇用・労働に関する社会政策が歴史的にどのように発展してきたのかを理解する。また、今日の労働問題をめぐる対抗について理解するとともに、望ましい労働政策について自らの意見を持てるようになる。	失業、非正規雇用、労働市場、ワーキングプア、長時間労働、賃金格差	2	2年				○		◎	○	
35D09	介護政策論	介護保険制度についての制度と理論の基本的理解を習得する。	介護、健康、少子高齢化社会、地域包括ケアシステム、準市場	2	2年	◎	○		○		○		
35D10	スポーツ政策論	我が国のスポーツ政策について、国や自治体の法、条例、施策から理解する。	スポーツ基本法、スポーツ基本計画、スポーツ推進計画、国、自治体	1	2年	◎	◎	○			○		

地域創造学類カリキュラムマップ(公共政策プログラム専門科目)(令和4年度以降)

ディプロマ・ポリシー(学位授与方針)	地域創造学類では、現実の社会から提起される現代的諸課題に目を向け、それらを解決できる能力の育成を行う。そして、誰もが生き生きと安心して暮らせる社会、グローバルな共生社会、しなやかで折れない地域、将来にわたって持続発展する地域を実現するため、地域創造学の専門的知識と技術を修得し、地域の資源と特徴を生かし、質の高い個性ある地域づくりに意欲と責任をもって参加できる人材を、金沢大学<グローバル>スタンダード(KUGS)に立脚して育成する。また、海外の地域創造情報を自ら英語で収集し発信できる人材を育成する。金沢大学<グローバル>スタンダード(KUGS)及び本学類が掲げる人材養成目標を踏まえ、次の学修成果を達成した者に学士(地域創造学)の学位を授与する。	
公共政策プログラムの学習成果		
① 知識・理解	人間の生活基盤となる地域とその諸問題を理解するための地域創造学の専門的知識を修得している。	
	理念目標・社会的責任	対象となる地域課題の理念・目標や社会的責任について理解している。＝公共性、政策
	現状理解・把握	対象となる地域課題の現状理解や把握について理解している。＝協働、リスクコミュニケーション
② 技能・表現	実践論・対処方法	対象となる地域課題の実践論や対処方法について理解している。＝市民参加、熟議民主主義
	調査・分析方法	地域の諸課題の解決に必要な調査や分析の方法を修得している。
③ 思考・判断	伝達技能	他者の声に耳を傾け、自らの考えを的確に伝達するコミュニケーション能力と他者を繋げ合意形成に導くコーディネーション能力を身につけている。
	思考・判断	地域や社会の諸問題を生活から制度・政策まで多角的に分析し考察できる。
④ 関心・意欲	関心・意欲	地域の諸問題を自ら探求し、よりよい地域の創造に貢献する意欲を持っている。
⑤ 態度	態度	地域で暮らすすべての人に共感と尊敬を持って接することができる。

地域創造学類のカリキュラム・ポリシー(教育課程編成方針)	<p>地域創造学類は、学位授与方針に掲げる学修成果を達成するため、以下のとおり階層的な教育課程を編成し実施する。特に、地域課題科目群と地域創造科目群の選択的組み合わせによるプログラム制を導入し、学生の学修目標に沿った履修を実現する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 地域を知る基礎的な方法やリテラシーを学ぶ学類基礎科目群 2 地域とその諸問題を理解し、専門的知識を修得するための地域課題科目群 3 学生自身の将来像を意識させ、地域づくりのリーダーとしての素養を修得する地域創造科目群 4 地域を多面的に理解する調査や分析の方法を修得する演習及び実習科目群 5 多様な地域課題に対処する能力を高め、総合性を担保するための高年次の地域創造学特別演習 6 修得した知識と方法を統合的に発揮して自ら発見した地域課題に向かい合う卒業研究 <p>加えて、地域課題解決に実践的に取り組むための現地実習やインターンシップを配置し、フィールドワークによるプロジェクト学習や問題解決学習の手法を導入した実践的学修機会を用意する。また、学生の能動的学習を積極的に促すアクティブラーニングの手法を取り入れるとともに、外国語による地域創造に関する情報の収集と発信機会を提供する。</p>
------------------------------	---

【◎】は、授業の中で重点的に取り扱われ、特に高い学習成果が期待される。
 【○】は、授業の中で取り扱われ、高い学習成果が期待される。

番号	授業科目名	学生の学習目標	授業理解のキーワード	単位数	学年	学習成果					関心・意欲	態度	
						理念目標・社会的責任	知識・理解 現状理解・把握	実践論・対処方法	調査・分析方法	技能・表現 伝達技能			思考・判断
35D11	保健医療論Ⅰ	保健医療に関するアクセシビリティに関して、実例を学ぶ。実社会での課題について学び、その課題における原因や対応について議論する。	アクセシビリティ、健康格差、精神保健、人権	1	2年	◎	◎	◎	○	○	◎	◎	◎
35D12	保健医療論Ⅱ	保健医療サービスの利用者やその家族を支える医療と福祉の連携、保健医療サービスのあり方を理解し、今後の方向性を学ぶことにより、我が国における保健医療福祉における今後の方向性について理解出来るようになる。	アクセシビリティ、健康格差、精神保健、保健医療制度、国際保健	1	2年	◎	◎	◎	○	○	◎	◎	◎
35D13	社会保障論	社会保障についての制度と理論の基本的理解を習得する。	社会保険、社会福祉、公的扶助、社会保障の財政、社会保障の規範理論	2	2年	◎	○		○		○		
35D14	地域計画論	学際的な地域計画の基礎を理解し、地域計画・地域政策・地域問題の関係を地域的条件や政策立案過程を踏まえて理解することができる。	地域計画、地域政策、地域問題	1	2年	○	◎				○		
35D15	農村計画論Ⅰ	農村計画と社会的な背景の有機的な構造について理解する。	農村、農村計画、土地利用計画、生活環境整備、農村環境、中山間地域、撤退の農村計画	1	2年		◎	○		○	○		
35D16	農村計画論Ⅱ	農村計画と社会的な背景の有機的な構造について理解する。	農村、農村計画、土地利用計画、生活環境整備、農村環境、中山間地域、撤退の農村計画	1	2年		◎	○		○	○		
35D17	政策社会学	・社会問題の解明と政策形成の技法を理解する。 ・現代社会における価値と規範の構図を理解する。 ・政策形成における熟議民主主義の意義を理解する。	政策、価値、規範、公共性、社会運動、熟議民主主義	1	2年	◎	○		○		◎		
35D18	政策社会学研究	政策社会学の基礎を修得したうえで、それに基づいていくつかの例を取り上げて政策形成のポイントについて議論し、考察することができる。	政策、価値、規範、公共性、協働、熟議民主主義	1	2年	◎	○		○		◎		
35D19	伝統文化変容論	伝統文化とは何か?「ホンモノ」の文化は存在するのか?などの問いを通して、現代社会における文化変容の様相を、文化人類学の視点から理解する。	伝統、文化、変容、現代社会、真正性、遺産化	1	2年	○	◎				◎	○	
35D20	公共哲学	公共政策への応用を念頭に、公共哲学の基本的理解を習得する。	公共性、正義、自由、平等、共同性	1	2年	◎					◎		

地域創造学類カリキュラムマップ(公共政策プログラム専門科目)(令和4年度以降)

ディプロマ・ポリシー(学位授与方針)	地域創造学類では、現実の社会から提起される現代的諸課題に目を向け、それらを解決できる能力の育成を行う。そして、誰もが生き生きと安心して暮らせる社会、グローバルな共生社会、しなやかで折れない地域、将来にわたって持続発展する地域を実現するため、地域創造学の専門的知識と技術を修得し、地域の資源と特徴を生かし、質の高い個性ある地域づくりに意欲と責任をもって参加できる人材を、金沢大学<グローバル>スタンダード(KUGS)に立脚して育成する。また、海外の地域創造情報を自ら英語で収集し発信できる人材を育成する。金沢大学<グローバル>スタンダード(KUGS)及び本学類が掲げる人材養成目標を踏まえ、次の学修成果を達成した者に学士(地域創造学)の学位を授与する。	
公共政策プログラムの学習成果		
① 知識・理解	人間の生活基盤となる地域とその諸問題を理解するための地域創造学の専門的知識を修得している。	
	理念目標・社会的責任	対象となる地域課題の理念・目標や社会的責任について理解している。=公共性、政策
	現状理解・把握	対象となる地域課題の現状理解や把握について理解している。=協働、リスクコミュニケーション
② 技能・表現	実践論・対処方法	対象となる地域課題の実践論や対処方法について理解している。=市民参加、熟議民主主義
	調査・分析方法	地域の諸課題の解決に必要な調査や分析の方法を修得している。
③ 思考・判断	伝達技能	他者の声に耳を傾け、自らの考えを的確に伝達するコミュニケーション能力と他者を繋げ合意形成に導くコーディネーション能力を身につけている。
④ 関心・意欲	③ 思考・判断	地域や社会の諸問題を生活から制度・政策まで多角的に分析し考察できる。
⑤ 態度	④ 関心・意欲	地域の諸問題を自ら探求し、よりよい地域の創造に貢献する意欲を持っている。
	⑤ 態度	地域で暮らすすべての人に共感と尊敬を持って接することができる。

地域創造学類のカリキュラム・ポリシー(教育課程編成方針)	<p>地域創造学類は、学位授与方針に掲げる学修成果を達成するため、以下のとおり階層的な教育課程を編成し実施する。特に、地域課題科目群と地域創造科目群の選択的組み合わせによるプログラム制を導入し、学生の学修目標に沿った履修を実現する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 地域を知る基礎的な方法やリテラシーを学ぶ学類基礎科目群 2 地域とその諸問題を理解し、専門的知識を修得するための地域課題科目群 3 学生自身の将来像を意識させ、地域づくりのリーダーとしての素養を修得する地域創造科目群 4 地域を多面的に理解する調査や分析の方法を修得する演習及び実習科目群 5 多様な地域課題に対処する能力を高め、総合性を担保するための高年次の地域創造学特別演習 6 修得した知識と方法を統合的に発揮して自ら発見した地域課題に向かい合う卒業研究 <p>加えて、地域課題解決に実践的に取り組むための現地実習やインターンシップを配置し、フィールドワークによるプロジェクト学習や問題解決学習の手法を導入した実践的学修機会を用意する。また、学生の能動的学習を積極的に促すアクティブラーニングの手法を取り入れるとともに、外国語による地域創造に関する情報の収集と発信機会を提供する。</p>
------------------------------	---

【◎】は、授業の中で重点的に取り扱われ、特に高い学習成果が期待される。
【○】は、授業の中で取り扱われ、高い学習成果が期待される。

番号	授業科目名	学生の学習目標	授業理解のキーワード	単位数	学年	学習成果						
						理念目標・社会的責任	知識・理解 現状理解・把握	実践論・対処方法	調査・分析方法	技能・表現 伝達技能	思考・判断	関心・意欲
35D21	地方財政論	1. 国と地方の機能分担・財源配分の考え方を理解する。 2. 地方財政の歳入・歳出・地方債の構造を知る。 3. 歳出・財源構成の変化の背景にある政策動向を理解する。	政府間財政関係 自治体の歳入・歳入 公信用 行財政改革	2	2年	○	◎		○		○	
35D22	労使関係法	労働組合の行う集団的行為には、個人の行為とは異なった特殊な法的考察が求められ、事例を素材にして、この点を習得する。また、労使紛争を未然に防止するとともに適切に解決するには、どのような点が重要かを理解する。	労働者、使用者、労働組合、団体交渉、労働協約、争議行為、不当労働行為	3	2年	◎	○			◎	○	
35D23	基礎社会統計学Ⅰ	・記述統計の技法を学ぶ。 ・推測統計の考え方を学ぶ。 ・社会調査データの基礎的な分析法を身につける。	記述統計、推測統計、社会調査	1	2年		◎		◎	◎	○	
35D24	基礎社会統計学Ⅱ	・記述統計の技法を学ぶ。 ・推測統計の考え方を学ぶ。 ・社会調査データの基礎的な分析法を身につける。	記述統計、推測統計、社会調査	1	2年		◎		◎	◎	○	

開講されるクォーターは、年度ごとに公表される授業時間割表を参照してください。